

令和6年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	9
事業の状況	13
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	13
公2 生活創造活動への支援	27
公3 芸術文化の振興	30
公共 丹波地域情報の発信等	32
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	34
他1 芸術文化団体等活動支援事業	34
III 法人会計	35
施設の利用状況	37
(1) 丹波の森公苑	37
(2) 丹波年輪の里	38
(3) ささやまの森公園	38
(4) 丹波並木道中央公園	39
事業の受託状況	41

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを実現するために、

- 1) 魅力ある地域づくり
 - 2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくり
 - 3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業
- などを推進する。

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年に設立（平成24年公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和63年9月）に基づく「丹波の森構想」（平成元年3月）のもと、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

しかしながら、丹波の森構想策定から36年を経過する中で、丹波の森構想そのものが行政からも地域住民の中でも語られることが少なくなったのではないかと思います。

このような中、令和5年度に、理事会、丹波の森を考える小委員会及び県市連絡会において協議を重ね、「丹波の森創造プラン」並びに「兵庫丹波の森協会アクションプラン」を策定しました。

丹波の森創造プランは、「森を大切に育てる」「花と緑の美しい地域づくりを進める」「個性豊かな地域文化を育てる」「安らぎと活力に満ちた地域づくりを進める」という4つの宣言を、あらためて住民、事業者、行政が一体となって進めるよう、宣言ごとに、18の項目、そして103の取組を整理しました。

「丹波の森構想」の理念の大切さを、この「丹波の森創造プラン」を通じて、丹波地域の皆さんへお知らせするとともに、この理念の実現に向け、県と市、協会が一体となって取り組みます。

また、「兵庫丹波の森協会アクションプラン」は、今後3年間の重要な取組として、特に「丹波の森宣言」「丹波の森構想」に対する丹波地域の皆さんへの理念浸透に向け、情報発信など6つの取組を整理しました。

令和6年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を実現していくための「丹波の森創造プラン」並びに「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組を進めるととし、併せて、丹波地域の自然環境を守り育てることを基本において、「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進します。

1 令和6年度重点的な取組

1) 理念の浸透

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念を丹波地域の皆さんに今一度浸透させていくため、下記の事業に取り組みます。

項 目	内 容
①職員全員による情報発信	<p>① ロゴやキャッチコピーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会（施設含む）が発行するすべての印刷物に丹波の森構想を想像できるキャッチコピー掲載 ・4月～5月の間に協会で決定 <p>②職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員誰もが「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を理解し、推進するための研修会の開催 ・令和6年度上半期に開催（2回） ・丹波の森大学への参加 <p>③インスタなどSNSを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員自らが、協会（施設含む）の取組や、丹波の森づくりの情報を発信するための研修の開催 ・4月～6月に開催（専門業者及び職員による研修）
②新聞による情報発信	<p>毎月1回丹波新聞に「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」に関するコラムを掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森研究所研究員（契約研究員含む）等が写真を添えて執筆 ・令和6年4月から毎月1回
③図書館に丹波の森コーナー設置	<p>2市図書館に「兵庫丹波の森協会コーナー」を設置し、協会が発行している冊子や資料、むかしばなしなどを配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月から順次配架
④PR展示	<p>丹波の森公苑やゆめタウン（丹波市）・市民センター（丹波篠山市）で、「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」、「丹波の森創造プラン」などの情報を紹介展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むかしばなし（挿入挿絵）と合わせて展示 ・ウィーン写真展と合わせて展示 <p>※展示期間中にむかしばなしの読み聞かせや丹波の森研究所研究員による「丹波の森宣言」や「丹波の構想」の解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30周年記念の映像活用
⑤小冊子、協会誌づくり等	<p>「丹波の森宣言」や「丹波の森創造プラン」などに関する冊子等を作製し広報</p> <p>① 小冊子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丹波の森創造プラン」をわかりやすく紹介する小冊子 ・令和7年度に向け、子どもたちに配布できる小冊子づくりを教育委員会と協議 <p>② 兵庫丹波の森協会誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丹波の森構想」などを知らせるとともに、4施設の取組やイベント情報などを合わせた協会誌の発行（9月発行）
⑥4施設の取組	<p>協会が指定管理者である4施設においても、イベントや講座などの中で、積極的に理念浸透に取り組む</p>

2) 県市との連携

「丹波の森宣言」「丹波の森構想」の理念の浸透に向けては、県市と協会が一体となって取り組む必要があります。

①取組を共有する場

- ・県市や協会が、目的や取組方向を共有する必要があります。
- ・県市政策担当部課との定期的な情報共有と協議の場を設定します。
年4回（4月、7月、11月、1月）
- ・県市担当部課と具体的な取組について協議します。令和6年度は、「地域の機能維持、活性化」を重点テーマとし、丹波の森研究所とともに、地域（集落）支援について協議実践します。

③ 丹波の森宣言や丹波の森構想を学ぶ場

- ・もともと地域とかかわりの深い県市職員に対し、あらためて「丹波の森宣言」「丹波の森構想」、そして令和5年度に策定した「丹波の森創造プラン」を理解いただく研修の場を設けます。
年1回程度の開催（小冊子の作製と合わせ実施）
- ・丹波の森大学を職員研修の場として活用します。参加だけでなく、ゼミでは、丹波地域の皆さんと議論するリーダーとして位置づけ、地域の皆さんとともに「丹波の森づくり」を学ぶ機会とします。

3) もりびと（人材）の育成

- ・協会（職員）として
協会の設置目的である「丹波の森づくり・丹波の森構想」の推進を職員自ら改めて意識し、協会活動に取り組みます。
- ・県民局、丹波篠山市、丹波市と連携して
常に県民局、2市と情報を共有し、理念浸透を同じ視点でとらえ、「丹波の森づくり」「丹波の森構想」や今回策定した「丹波の森創造プラン」に基づき、理念浸透や具現化に取り組みます。
- ・地域住民等に対して
丹波の森大学など、協会で実施する取組においては、人材育成を主眼に置き、取り組みます。

4) 体制の強化と充実

協会事務局及び4施設が、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を具現化し、充実した取組を進めるためには、体制の強化が重要です。

この中で、丹波の森公苑は、非公募であることから、県から現職5名や県OB職員7名が派遣され、施設運営の中核として業務に従事しています。

公募後は、この派遣がなくなることから、指定管理者の応募に向けては、協会として人員の確保が必要となります。

令和6年度においては、協会アクションプランで「体制強化と充実」を計画していますが、他の施設とともに、安定かつ充実した人材の確保に取り組みます。

5) 指定管理者制度への対応

協会は、4つの県立施設の指定管理者として管理運営しています。

施設名	指定管理期間	適用
丹波の森公苑	R3～R6	R6年度1年、さらに1年延長
丹波年輪の里	R6～R10	公募で新たに選定
ささやまの森公園	R6～R8	非公募で新たに選定
丹波並木道中央公園	R3～R7	R7年度公募

① 丹波の森公苑（非公募施設）

非公募での指定管理期間は、令和5年度で終期を迎えたが、1年間非公募での指定管理期間が延長されます。現在、令和7年度までの延長を県に要望しています。

現在は、非公募で指定管理者として協会が指定されていますが、県下の類似施設は、令和5年度までに公募により選定され、いずれも結果、民間事業者が指定管理者となっています。

本公苑も、令和6年度又は令和7年度には、非公募から公募方式による指定管理者の選定となる見込みです。県が実施するサウンディング調査では、多くの民間事業者が本公苑の運営に興味を持ち、今後公募された場合に応募してくることが予測されます。

本公苑は、「丹波の森構想」の拠点施設として整備され、「丹波の森構想」を推進・具現化していく重要な施設です。

協会としては、公募に向け、「丹波の森構想」を基軸とした取組を今以上に充実させ、公募された場合でも指定管理者として選定されるよう、しっかりと準備を進める必要があります。

令和6年度は、今後公募されることを視野に置き、魅力ある施設管理・運営や適正な施設維持に取り組むとともに、体制の在り方を検討します。

② 丹波年輪の里（公募施設）

令和5年度に公募が実施され、令和6年度から5年間の指定管理者に指定されました。

③ ささやまの森公園（非公募施設）

令和5年度に非公募により選定され、令和6年度から3年間の指定管理者に指定されました。今回は、非公募により選定されましたが、将来的には公募の可能もあり、さらに充実した取組を進めます。

④ 丹波並木道中央公園（公募施設）

本公園は、指定管理期間の4年目となります。令和7年度には、次期指定管理者の公募が実施されます。令和6年度後半から、応募に向けた準備に取り掛かります。

2. 各部門・施設の主要な取り組み

令和6年度の協会事務局及び4施設の主な取組は下記のとおりです。

1) 協会事務局及び丹波の森研究所

項 目	内 容
理念浸透	<ul style="list-style-type: none"> ○職員全員による情報発信 ○丹波新聞へコラム掲載（丹波の森研究所） ○図書館に丹波の森コーナー設置 ○PR展示 ○小冊子、協会誌づくり等 ○4施設での取組
丹波の森大学	<ul style="list-style-type: none"> ○第34期学習基本テーマ「森の遺伝子」 ○ともに考える「丹波の森大学」 誰もが知識を得る講座方式とともに、講師とともに考える「ゼミ」方式の講座に取り組む。 ○理解し知識を学ぶ「丹波の森大学」 講座方式 年5回 講座方式+ゼミ方式 1講座+2ゼミ×3回 ○両市との連携 講座への県市職員の参加。ゼミ方式は、職員の学びの場として活用 ○他事業との連携 OB大学や県民局事業との連携 ○実施時期：6月～令和7年1月
丹波の森研究所	<ul style="list-style-type: none"> ○地域支援「集落維持と活性化」 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む集落の機能維持と同時に、移住定住を含めた地域の活性化に向けたテーマに市とともに取り組む。 ・研究所が企画立案し、現状の調査と分析。地域に入る職員の育成 ・市は、活性化チームをつくり、地域とともに考える仕組みをつくる。 ○高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト（ささやまの森公園と共同実施） <ul style="list-style-type: none"> ・鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方（3講座程度） ・篠山東雲高校生を中心に市内の高校生や一般など対象 ○森を見守る若手育成プロジェクト
体験イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○丹波の森KIDSプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・自然を楽しみ、自然環境や生物への興味関心を育み、自然を大切にすることを育てる。 ・内容：年4回（予定） 共催：兵庫県立人と自然の博物館 春「お花ぶかぶか」、夏「ミクロのせかいをのぞいてみたよ」、秋「どんぐりころころ」、冬「移動博物館 ゆめはく」 ○昆虫リーダー養成 <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫に触れ合うことを通じ、森（自然）を大切に守り育てる意識を深める。

2) 丹波の森公苑

項 目	内 容
里山整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・植生、地形・土壌条件、動植物などを調査 ・ゾーン区分と整備内容を検討 ・担い手育成、体験の場づくり、森林資源活用などの方策を検討
丹波縄文の森塾	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：5月～令和7年3月 ・募集定員：小学3年～6年生30人
国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導（21小学校、2高校、8事業所等） ・第15回放蝶会：6月30日（日） ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施
講座「丹波学」	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「明智光秀とその時代～光秀の足跡と丹波の城郭～」 ・開催期間：8月～12月（全5回） ・講 師：城郭談話会会員 福島克彦氏ほか
丹波の森子どもミュージカル体験塾	<ul style="list-style-type: none"> ・日 程：7月下旬～10月中旬（全15回） ・対 象 者：小・中・高校生 【発表公演】10月20日（日）2回公演
丹波の森国際音楽祭シューベルティアデーたんば	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：9月8日（日）～11月17日（日） ・オープニング・サロンコンサート 畑儀文氏、アレキサンダー・シェヴチェンコ氏 ほか ・ガラ・コンサート 畑儀文氏、ティルマン・クレーマー氏、関西フィルハーモニー管弦楽団他 ・街角コンサート 丹波地域2市10会場 ・ふるさと音楽ひろば（丹波地域の小学校10校） ・キン・コン・カン・コンサート（丹波地域内の中・高・特別支援学校4校） ・吹奏楽部のための出前講座（丹波地域内で2回） ・音楽系部活動サポートプロジェクト（丹波篠山市立中学校2校）
生活創造活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活創造活動を実施する団体等の活動支援 ・生活創造活動登録グループが一堂に会して交流するイベントを開催

3) 丹波年輪の里

項 目	内 容
木工クラフト指導及び特別工作教室	<ul style="list-style-type: none"> ・木工クラフトの創造・創作活動の拠点。木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、「暮らしの中に木を取り入れる」。 ・初心者から本格派まで、基礎講座からカレースプーン、木のおもちゃ、焼きペン、漆塗り、刃研ぎ等バラエティに富んだ木工教室の開催
木育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の普及促進 ・木製玩具の貸出しやワークショップ等。認定こども園等を訪問し、遊びを通して木の良さや香り、手触りなど体感できる木育活動（約40か所）

項 目	内 容
作品展等	<ul style="list-style-type: none"> ○第 10 回ウッドワーカーズクラフト <ul style="list-style-type: none"> ・木工作家の作品の展示即売会を実施 ○座っ展 2024 ～丹波で坐る木の椅子～ <ul style="list-style-type: none"> ・「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピール ○第 36 回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「木を素材としたおもちゃを、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造する喜びを味わう」 ・木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催 ○第 8 回心を届けるたんば絵てがみコンクール <ul style="list-style-type: none"> ・「絵手紙」を文化的な創作活動として支援 ○第 33 回アート・クラフトフェスティバル in たんば 2024 <ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で活動するクラフトマンの作品展示
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○地域団体等との連携 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ティラノサウルスレース in 丹波竜の里（地元高校生の運営参画） ・ロハス・パーク丹波（グルメフェス@丹波） ・SPLASH!! 丹波!!、丹波アウトドアフェスティバル ・丹波年輪の里杯サッカー大会、丹波市モルック大会 </div> ○ゴールデンウィークフェスタ 2024 ○緑の中のコンサート 年 2 回の開催

4) ささやまの森公園

項 目	内 容
高校生を対象とした森の保全再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：鳥類の生息状況や生息環境の整備、管理のあり方 3 講座程度 ・対象者：篠山東雲高校他の生徒 ・実施時期：6 月～10 月（丹波の森研究所と共同実施） ・連携：兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立人と自然の博物館と協働
基本プログラム	<p>重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動スタッフ（ボランティア）が企画立案、当日のプログラムを運営 ○里山体験班 <ul style="list-style-type: none"> ・草木染め、鹿の角アクセサリー作り、布雑巾・しめ縄づくり等 ○里山伝承班 <ul style="list-style-type: none"> ・おから料理、梅味噌、黒豆栽培、そば道場、黒豆みそ、ピザづくり ○自然学習班 <ul style="list-style-type: none"> ・野草観察会、バードウォッチング、ホタルやモリアオガエル等の観察 ○レクリエーション班 <ul style="list-style-type: none"> ・稲作体験、源流探検、深山登山、とんど、餅つき、ツリーイングなど ○里山復元班 <ul style="list-style-type: none"> ・カッティングボード、ログチェア、ミニ門松、竹スピーカー、チェーンソー安全教室など
森の学校(第 17 期生)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で様々な体験をし、たくましく生きる力を育てる。 ・対象：小学 3 年生から 6 年生 開催回数：年 10 回

項 目	内 容
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・里山まつり（春・秋の2回開催） 内容：里山体験プログラム、里山コンサート、ビンゴゲーム 等 開催予定日：4月14日、11月10日 ・ささもりステージ

5) 丹波並木道中央公園

項 目	内 容
昆虫観察会	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の自然と生物にふれあう機会を作り、自然とふれあう。 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携し、研究員による昆虫観察会を実施
サイクルステーション活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域を「サイクリングを楽しむエリア」として、魅力を楽しんでもらう。 ・地元関連団体と連携した自転車安全教室を実施など
各種イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○なみきみちわくわくフェスティバル 「Go!Go!里山の日」の会場の一つとして開催 ○なみきみちまつり（収穫祭） ・当公園のある味間地区と大山地区のまちづくり協議会と連携して、秋の収穫時期に大規模な食イベントを開催
大人の木工教室、なみきみちクラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内の適正な間伐と間伐材の活用で木の温かみに触れる「木育」 ・間伐材遊具の作製、間伐材を利用しての大人の木工教室など

3 財政運営

財政上の課題として、県からの地域振興事業費補助金の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、さらに一方で、様々な物価上昇の状況下であり、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

4 施設及び協会運営に係る事業の見直しや受講料などの受益者負担の考え方を整理することで全体の事業費の見直し、また事業にかかる自主財源の適正化にさらに努めていきます。

令和6年度においては、「丹波の森宣言」「丹波の森構想」、そして「丹波の森創造プラン」の理念浸透をアクションプランの中で重点的な取組として位置付けており、その新たな取組については丹波の森づくり基金の活用を図り推進していきます。

また、アクションプランに基づき、事業の効果的な実施と財源の効率的な活用を図りつつ、さらなる協会全体の体制強化を図るために、県及び両市と協議を進めます。

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設
- イ ウィーンの森友好親善交流事業
- ウ 丹波の森研究所
- エ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ 花と緑の地域づくり事業
 - ・ 丹波の里山づくり発信事業
- オ 花づくり活動支援事業
- カ 丹波の森フェスティバルの開催
- キ 丹波年輪の里事業
- ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

- ア 丹波地域生物多様性保全事業
- イ 丹波の森公苑里山事業
- ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業
 - ・ 縄文の森ユース躍動プロジェクト事業
- エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

- ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 講座「丹波学」の開設
- ウ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入 【全施設】
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【県立丹波年輪の里】
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催 【県立丹波年輪の里】
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 座つ展 -丹波で坐る木の椅子- 【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等 【全施設】
- イ 運営委員会の開催 【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

- ア 芸術文化団体等への活動支援
- イ 音楽活動団体等への支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

ア 協会維持運営

イ 「丹波の森創造プラン」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組

ウ 市・県との連携強化

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の状況

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化(地域づくり)の創造

(単位:円)

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額 ¹⁾	決算額
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森づくり=丹波の地域づくり」を実践するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第34期のテーマ 「森の遺伝子」 ・募集定員:60人 ・受講生数:53人 ・受講料:8,000円 ・開催時期:6月15日(土)～ 令和7年1月18日(土) ・場 所:丹波の森公苑、丹波篠山市民センター、たんば黎明館 ・内容 (1)講座:7回+現地学習 (2)ゼミ:事業創造コース(3回) 養成ゼミコース(3回) 【講義概要】8回 ① 6月15日(土) 角野幸博氏・谷水ゆかり氏 「景観の遺伝子・事業創造コース概論説明」 ② 7月24日(水) 若宮正子氏(公開講座・OB大学との共催) 「すでにはじまっている未来日本の今」 ③ 8月10日(土) 清水陽子氏 「丹波で育つ学生～地域演習の面白さと難しさ～」 ④ 8月31日(土) 平櫛武氏 「地域で人をつなぎ、場をつくるファシリテーション技術を学んでみませんか?」 ⑤ 9月28日(土) 森本幸裕氏 「ネイチャーポジティブの景観生態学～自然保護の来し方行く末を考える～」 ⑥ 11月6日(水) 現地学習(滋賀県立琵琶湖博物館・大本山石山寺) ⑦ 11月30日(土) 村上哲明氏 「牧野富太郎博士が85年前に丹波で採集した植物標本と牧野標本館で現在行われている森の保全にも役立つDNA情報を活用した研究」 ⑧ 令和7年1月18日(土) 養成ゼミコース報告会 受講生からのゼミ報告とゼミ講師による講評 【事業創造コース】3回 ① 7月6日(土) 谷水ゆかり氏 「キックオフセミナーパネルディスカッション事業で輝く私の道」 ② 9月12日(木) 野澤拓郎氏 ※台風の影響により8月30日から延期 「海外ビジネスへの挑戦」 ③ 9月7日(土) 濱孝之氏 「人に愛される商品が生まれるまでサントリー編」 【養成ゼミコース】3回 ① 10月18日(金) 「進行役とファシリテーターの違いとは?～リレー・ファシリテーション～」 ② 11月14日(木) 「地域意見の重みづけによる課題提出～ローリング・ファシリテーション～」	1,280,000	1,254,946

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>③ 12月13日(金) 「本番を想定した地域住民役との実戦訓練～サバイバル・ファッションショー～」</p> <p>○県、両市との連携 講座への県・市職員の参加(9人)</p> <p>○他事業との連携 丹波OB大学との連携(公開講座) 県民局事業との連携(事業創造コーススキルアップセミナー)</p> <p>○受講生募集のSNS広告発信 参加者募集の広報のため、Facebook及びInstagramにおいて広告を配信し、「丹波の森大学」サイトへの誘導を促進した。 発信期間:6月6日(木)～11日(火) 表示回数:69,731回 クリック数:768回(1.1%)</p>		
イ	ウィーンの森親善訪問事業 (協会事務局)	<p>ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーンの森として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいる。</p> <p>まさにこれは、丹波の森宣言、丹波の森構想で目指す「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流をさらに深めることにより、より魅力的な「丹波の森」づくりが進展させる。</p>	<p>○ウィーン市13区との友好親善交流</p> <p>①エベリン・サイトウ・ラクナー氏(ウィーン市13区との仲介者)とWEB会議 ・開催日:10月30日(水)、令和7年3月12日(水) ・内容:令和4年度にウィーン市13区ヒーティング区長から都市間友好親善提携について要請を受け、仲介者のラクナー氏とWEB会議やメールなどを通じ協議調整を行った。 ・都市間提携の提案をされたコバルド区長が令和5年9月に辞任され、新しいニコラウス・エーベルト区長の就任下では、提携が進展していない。 ・ウィーン市13区と都市間友好親善提携を行っている大阪府羽曳野市と情報共有を図ってきた。 ・在オーストリア(ウィーン)日本国大使館岩間大使がウィーン市13区ヒーティング区長へ令和7年3月6日に表敬訪問され兵庫丹波の森協会との交流状況を説明いただいた。</p> <p>②第18回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)授賞 ウィーン市13区ヒーティングとの友好親善提携の活動が評価され総務大臣賞を授賞 ・表彰式 日時:5月27日(月) 場所:総務省庁舎 馬場副大臣室 出席者:酒井理事長、倉常務理事 ・オンライン交流セミナー 一般財団法人自治体国際化協会が授賞3団体の交流セミナーを開催し、ウィーン市13区との国際交流の事例を発表 日時:7月17日(水)</p> <p>○オオムラサキへの支援及び情報交換 シェーンブルン動物園からの要請を受け、オオムラサキの越冬幼虫30頭を兵庫丹波オオムラサキの会を通じて航空便で送付した。</p> <p>○交流花壇設置支援事業 丹波の森・ウィーンの森提携20周年記念事業友好親善提携訪問団メンバーにより設置した「シェーベルト花壇」は来苑者に当協会とウィーン市13区との交流を周知するものであることから、維持管理に係る資材等の支援を行った。</p>	279,000	274,803

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	丹波の森構想に基づく「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」(丹波の森づくり)を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。	○丹波の森づくりの推進に向けた取組 ① 丹波地域持続可能な多自然地域づくり情報交換会 ・地域づくりの基礎情報となる小学校区カルテの更新について協議 (参加者) 丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、協会(丹波の森研究所) 開催日: 6月20日(木)、8月29日(木)、11月7日(木)、令和7年2月13日(木) ② 丹波篠山市ふるさとの森づくり構想改訂版の策定支援(策定委員会への参画) 開催日: 5月15日(水)、7月5日(金)、9月13日(金)、10月21日(月)、11月12日(火) ・「丹波の森創造プラン」の概要説明 ・森づくりの基本方針、将来像、アクションポイントなどの内容の検討 ・計画書の全体構成への提言 ③ 丹波市森林づくりビジョン改訂版の策定支援(令和5年度から検討委員会への参画) 開催日: 8月20日(火) ・丹波の森宣言に基づく「丹波の森づくり」の基本方針との連携を提案 ・計画書の全体構成についての協議、合意形成 ④ 丹波篠山市職員研修 開催日: 9月25日(水) 対象者: 新規採用職員約30名 内容: 丹波の森宣言等の概要(事務局)地域づくりの取組(研究所) ⑤ 丹波新聞寄稿「丹波のもりびと」 ・丹波の森研究所研究員が自らの丹波の森づくり活動を紹介 ・5月から7名の丹波の森研究所研究員が寄稿 ⑥ 旧雲部小学校活用検討 丹波篠山市の依頼に基づき、雲部まちづくり協議会が行う検討活動を支援 ・内容: 丹波篠山市城東支所と調整会議 雲部まちづくり協議会役員との事前協議 雲部内若手住民との懇談会 ・開催日等: 市との協議 7月1日以降3回実施 協議会役員協議 8月22日(木) 地区若手住民との懇談会を下記のように実施 ◎東雲: 10月1日(火) 雲部公民館 ◎春日江: 10月3日(木) 雲部公民館 ◎泉: 10月7日(月) 泉公民館 ◎佐貫谷: 10月24日(木) 佐貫谷公民館 ◎全地域: 令和7年2月21日(金) 雲部公民館 ◎全地域: 令和7年2月24日(月) 雲部公民館 ◎全地域: 令和7年2月27日(木) 雲部公民館	3,989,000	3,982,687
	エ 地域づくり支援事業				
	・ 地域づくり支援事業 (協会事務局)	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づく	○地域づくりアドバイザー派遣 ① 福住地区まちづくり協議会支援 ・戦略的移住推進モデル事業(兵庫県)を推	551,000	545,607

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
		りのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	<p>進する事業組合などに関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：5月12日(日) <p>② 雲部まちづくり協議会支援(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧雲部小学校活用検討 ●東雲：10月1日(火) 雲部公民館 ●春日江：10月3日(木) 雲部公民館 ●泉：10月7日(月) 泉公民館 ●佐貫谷：10月24日(木) 佐貫谷公民館 ●全地域：令和7年2月21日(金) 雲部公民館 ●全地域：令和7年2月24日(月) 雲部公民館 ●全地域：令和7年2月27日(木) 雲部公民館 <p>○丹波の森もりびと賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査委員会(理事長が評議員から選任した4名による) 開催日：9月18日(水) 審査対象：5団体 ・受賞者 (1) 吉良 勉(丹波篠山市) (2) かどのでもりもり倶楽部(丹波市) (3) 丹波市木の駅実行委員会(丹波市) ・表彰式 開催日：10月27日(日) 場所：丹波の森公苑 丹波の森フェスティバル会場 		
	・花と緑の地域づくり事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動を一層推進するため、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。	<p>○たんばオープンガーデンへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：4月21・22日(日・月) 5月19・20日(日・月) ・場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園 ・主催：丹波の森花くらぶ <p>○丹波の森ミニガーデン(コンテナガーデン)の制作・展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示場所：丹波の森公苑、丹波年輪の里、丹波並木道中央公園 ・実施期間：10月12日(土) ~11月4日(月・祝) ・規模：6庭 ・出展団体等：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、更生保護女性会山南支部小川校区、県立氷上高校、県立篠山産業高校、県立篠山東雲高校 	350,000	343,864
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局) 【丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託】	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	<p>○丹波の里山づくり活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルとなる里山活動団体にアドバイザーを派遣し、森づくり活動を支援 (1) 八幡共有山組合(丹波篠山市) (2) 平松区森林愛好会(丹波市) (3) ふるさと和田里山づくり協会(丹波市) (4) 国領地区自治協議会(丹波市) (5) 岩崎山の会(丹波篠山市) ※里山活動は主に10月~3月に実施 ・里山づくりアドバイザー会議を定期開催 開催日：9月5日(木)、12月18日(水)、令和7年2月26日(水) 開催場所：丹波の森公苑 出席者：里山づくりアドバイザー、丹波篠山市、丹波市、丹波の森研究所、兵庫丹波の森協会事務局、丹波の里山づくり実行委員会事務局(丹波農林振興事務所) 	1,000,000	998,640

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	オ 花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	<p>○花と緑の教室(基礎講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容: 草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 受講者数: 58人/募集60人 受講料: 18,000円 講師: 県立フラワーセンターからの派遣職員 実施期間: 5月～令和7年3月(年6回) 場所: 丹波の森公苑創作工房 <p>○花と緑の地域教室(自主活動グループ支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容: 花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者が、リーダーとして地域単位で教室を開催 グループ数等: 4グループ・15人 受講料: 15,600円 講師: 花と緑の教室を受講した者 実施期間: 5月～令和7年3月(年6回) 場所: 公民館等 <p>○園芸教室(応用創作講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容: 創作寄せ植えを中心とした知識修得、実習 受講者数: 28人/募集30人 受講料: 7,000円(材料費等別) 講師: ひょうごガーデンマイスター認定者 田丸和美氏 実施期間: 5月～令和7年3月(年7回) ※うち1回は先進地視察 場所: 丹波の森公苑創作工房 	1,554,000	1,553,670
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民や各種団体が取り組む生涯学習活動や地域づくり活動の成果発表を通じて、活動のさらなる展開と活動者の交流を図るとともに、住民の体験を促進する。	<p>「丹波の森の恵みに感謝!～もりびとになるう～」をテーマに、体験事業やワークショップを、丹波GO!GO!フェスタ2024(丹波GOGOフェスタ実行委員会主催)と同時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日: 10月27日(日) 場所: 丹波の森公苑 内容: <ul style="list-style-type: none"> ①屋外ワークショップ(「木を丸ごと体験」「チェンソーアート実演」、協会4施設連携ブース、石窯ピザづくり他) ②屋内ワークショップ(木製玩具の体験、雑貨づくり等10ブース) ③ステージ(「丹波のもりびと賞」表彰式、「国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」表彰式) ④パネル展示など(屋外6団体、屋内6団体) ⑤スタンプリリー、森のクイズ、物販など 来場者数: 10,000人 	757,000	757,000
	キ 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	<p>重点</p> <p>○木工クラフトの指導</p> <p>木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努めている。</p> <p>団体利用: 28団体/890人 個人利用: 2,630人</p> <p>○ゴールデンウィークフェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> 期間: 4月27日(土)～5月5日(日・祝) 丹波ウッドワーカーズクラフト39人の木工家の展示即売会 座っ展2024 17人の木工家34脚の展示 アトリエ作品展(私のクラフト作品展、 	4,090,000	3,810,466

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>水彩画展、小鳥のバードカービング体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木で遊ぼう、端材で遊ぼう ・竹とんぼづくり、ツリーイング体験 <p>○平日グラウンドゴルフ 74回 2,372人参加</p> <p>○第8回心を届けるたんば絵てがみコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間：9月1日(日)～12月28日(土) ・応募数：644点、515人 ・審査発表：令和7年1月10日(金) ・展示会会場：丹波年輪の里 木の館 ・展示期間：令和7年2月1日(土)～16日(日) ・展示場所：兵庫県中央労働センター、丹波おばあちゃんの里、ゆめタウン氷上店で巡回展示 <p>○木に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトによる情報提供 ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談 ・木木市(春、秋) 丹波市内の製材所や木工所と協力し、DIY向けの木材・端材を廉価で販売 開催日：5月25日(土) 11月23日(土) 場所：丹波年輪の里木の館、クラフト館前広場 <p>重点</p> <p>○木育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域をはじめ阪神間の認定こども園や保育園等に出向き、木のぬくもりや優しさを体感してもらうため木育セットの貸出しや、木の良さを伝えるため、触覚や嗅覚に訴える「木の話」(ワークショップ)を実施(45施設) ・市内在住の木工作家が製作したビー玉を使った木のおもちゃを配置 利用者数：15,720人 ・木工の楽しさや指導方法を研究いただくため、丹波市小学校図工科担当者研修会を開催 開催日：7月26日(金) 参加者数：20人 		
ク 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	丹波並木道中央公園は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。 また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、自転車を活用した地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。		<p>○活力あふれる地域づくりに資する公園</p> <p>① 第11回丹波なみきみちまつり「収穫祭」2024 開催日：10月6日(日) 入園者数：7,384人</p> <p>② 第9回なみきみち冬の味覚市 開催日：令和7年2月23日(日) 入園者数：3,382人</p> <p>③ 棚田の赤米を活用したイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験(認定こども園) 参加費：200円 開催日：5月22日(水) 参加者数：40人 ・田植え体験(一般) 参加費：200円 開催日：5月26日(日) 募集定員：7組 参加者数：27人 ・かかし立て(認定こども園) 開催日：9月4日(水) 参加者数：46人 ・稲刈り体験(認定こども園) 参加費：300円 	4,426,000	4,388,917

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>開催日：10月22日(火) 参加者数：41人 ・稲刈り体験(一般) 参加費：300円 開催日：10月27日(日) 募集定員：30人 参加者数：31人</p> <p>④ 丹波茶・日本茶のイベント ・お茶染めとお茶の淹れ方体験(茶まつり連携) 体験料：1,200円 開催日：6月1日(土) 募集定員：10人 参加者数：15人 ・ほうじ茶で染めよう 体験料：1,200円 開催日：8月4日(日) 募集定員：10人 参加者数：7人 ・お茶染め糸を使ったコースターづくり 参加費：1,000円 開催日：10月6日(日) 募集定員：10人 参加者数：3人 ・気軽に楽しむお茶の会 参加費：300円 開催日：10月6日(日) 参加者数：20人 ・お茶の実雛人形づくり・お茶染め展示会 体験料：1,200円 開催日：令和7年2月16日(日) 募集定員：10人 参加者数：6人</p> <p>⑤ 黒枝豆収穫体験 ・黒枝豆の収穫体験 参加費：1,000円 開催日：10月13日(日)・20日(日) 募集定員：各20人 参加者数：各29人</p> <p>⑥ ギャラリーかやぶき民家 ・並木道水彩画倶楽部展覧会 開催日：5月2日(木)～5日(日)</p> <p>⑦ ノルディックウォーキング 参加費：1,000円 実施期間：毎月第3日曜日実施 参加者数：計64人</p> <p>⑧ 心とからだの癒し講座 ・多肉植物のプチ寄せ植え(園芸療法) 体験料：600円 開催日：5月19日(月) 募集定員：10人 参加者数：6人 ・ハーブの手ごね石鹸づくり(アロマテラピー) 体験料：600円 開催日：6月16日(日) 募集定員：10人 参加者数：10人 ・ツルッとコスって描くバナナ(臨床美術) 体験料：600円 開催日：7月21日(日) 募集定員：10人 参加者数：6人 ・芝人形づくり(園芸療法) 体験料：600円 開催日：9月8日(日) 募集定員：10人 参加者数：9人 ・ミツロウハンドクリームとポプリづくり (アロマテラピー) 体験料：600円 開催日：11月17日(日) 募集定員：10人 参加者数：8人</p> <p>⑨ 各種駅伝競走大会 公園は主催団体と共催し、打ち合わせ、使用施設の解錠・貸し出し、備品の貸し出し、メダルの製作等を行っている。 ・丹波篠山市・丹波市中学生駅伝競走大会 開催日：10月16日(水) ・丹有地区中学生駅伝競走大会 開催日：10月23日(水)</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ駅伝大会 (丹波篠山市教育委員会主催) 開催日：11月2日(土) ・丹波篠山市駅伝競争大会 (丹波篠山市陸上競技協会主催) 開催日：12月21日(土) ○子育てに資する公園 ① 間伐材を使った遊具の製作・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・4月 ゴーカート注意・待機看板 ・5月 遊具ハウス屋根修繕 ・6月～7月 日よけ柵製作・設置 ② そうめん流し <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：7月1日～8月31日の土日 祝日 1日2グループ ・参加費：1グループ1,500円 ・利用者数：7月1グループ 8月5グループ ③ プールあそび <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：7月1日～8月31日の土日 祝日 1日2グループ ・利用者数：5グループ ④ 無料ぬりえ・管理棟おもちゃコーナー 年中 ⑤ そり貸出 令和7年2月8日(土)利用者数：17人 " 9日(日)利用者数：21人 ⑥ 描いて遊ぼう「凧づくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和7年1月12日(日) ・参加者数：15人 参加費：400円 ⑦ なみきみちわくわくフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：5月5日(日) ・参加者数：8,444人 ⑧ いどうこんちゅうかん <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：9月22日(日)・23日(月祝) ・参加者数：243人 参加費：200円 ○環境との共生に資する公園 ① 大人の木工教室 <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：毎月第1・第3土曜日 ・募集定員：各回4人 ・参加者数：計68人 ・参加費：2,500～3,200円 ② なみきみちクラフト <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：年に数回、土曜日開催 ・開催日：6月9日、7月28日、 11月3日 ・募集定員：各回12人 ・参加者数：計8人 ・参加費：600～800円 ③ 花と緑の教室 フラワーセンターとの連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：年9回 ・募集定員：24人(12人×2回) ・参加費：2,700～3,000円 		
			<ul style="list-style-type: none"> (第1回) 初夏の花を使った寄せ植えと管理 理法 開催日：5月17日(金) 参加者数：23人 (第2回) 夏の花木を使った寄せ植えと管理 理法 開催日：6月21日(金) 参加者数：14人 (第3回) 観葉植物を使った寄せ植えと管理 理法 開催日：7月19日(金) 参加者数22名 		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>(第4回) 多肉植物を使った寄せ植えと管理法 開催日：9月20日(金) 参加者数：15人</p> <p>(第5回) 秋の草花の寄せ植えと管理法 開催日：10月18日(金) 参加者数：19人</p> <p>(第6回) クリスマスの寄せ植えと管理法 開催日：11月22日(金) 参加者数：26人</p> <p>(第7回) 正月を飾る寄せ植えと管理法 開催日：12月20日(金) 参加者数：32人</p> <p>(第8回) 早春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和7年2月21日(金) 参加者数：19人</p> <p>(第9回) 苔テラリウムの作り方と管理法 開催日：令和7年3月21日(金) 参加者数：20人</p> <p>④ たんばオープンガーデンへの参加 ・開催日：4月21日(日)～22日(月)、 5月19日(日)～20日(月)</p> <p>⑤ しめ縄づくり ・開催日：12月15日(日) ・募集定員：15人 参加者数：13人 ・参加費：1,000円</p> <p>○持続可能なパークマネジメントの推進</p> <p>① その他団体との大規模イベント 「フードストリート in なみきみち」 ・開催日：11月24日(日) ・入場者数：7,337人</p> <p>② 木材供給システム 兵庫丹波の森協会、園芸公園協会が管理する施設等と調整しながら間伐材の提供など実施</p> <p>③ 化石発掘体験会(丹波篠山市教育委員会) ・開催日：5月5日(日)、7月27日(土)、 8月4日(日) ・募集人員：各回10人 ・参加者数：計71人</p> <p>④ 岩砕石割調査(人と自然の博物館) ・開催日：11月7日(木)～20日(水) ・参加者数：15人</p> <p>⑤ 化石を探すイベント(人と自然の博物館) (第1回) ・開催日：11月10日(日) ・参加者数：42人 (第2回) ・開催日：11月16日(土) ・参加者数：64人</p> <p>⑥ ジオの教室 in 丹波(人と自然の博物館・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会) ・開催日：3月9日(日) ・参加者数：66人</p> <p>⑦ 恐竜スタンプラリー(丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会) ・開催期間：11月1日(金)～30日(土) ・参加者数：110人</p> <p>⑧ 広報紙「PARK LIFE」を年に4回配布 公園の旬のトピックスを表紙に取り上げる。</p> <p>⑨ ホームページやSNSの更新 公園ホームページ、Facebook、InstagramなどSNSを活用</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>⑩ 持込企画の実施と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木道絵画倶楽部 (水彩画教室、展覧会、石ころアート) ・日本茶を楽しむ会「Tan-te」(日本茶イベント・お茶染め) ・楽々美香草(心とからだの癒し講座) ・丹波彫刻会(ねんど工作教室) <p>○その他</p> <p>① 一泊キャンプ 「古民家キャンプ in なみきみち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加費：大人 5,000 円、小人 2,000 円 ・開催日：7月27日(土)～28日(日) ・参加者数：4家族 14人 <p>② なみきみちデイキャンプ(かやぶき民家)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加費：大人 2,000 円、小人 1,000 円(第1回) ・開催日：11月10日(日) ・参加者数：6家族 17人(第2回) ・開催日：3月30日(日) ・参加者数：4家族 14人 <p>③ ベンチプロジェクト(4施設連携) 当公園内の間伐材を利用しミニベンチを製作。作品はそれぞれの施設で設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加費：1,000 円(第1回) ・実施日：8月7日(水) ・参加人数：3人(第2回) ・実施日：8月21日(水) ・参加人数：4人 		
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p>新規</p> <p>○丹波の森 KIDS プログラム(共催：兵庫県立人と自然の博物館)</p> <p>① 昆虫大捜査線 開催日時：5月3日(金・祝) 午前・午後 各1回 参加者数：78組、229人 (定員：各回100人) 参加費：1人300円(2歳以下無料) 場所：丹波の森公苑 対象者：小学生以下(保護者同伴) 講師：兵庫県立人と自然の博物館 事業推進部長 八木 剛氏 スタッフ：NPO法人こどもとむしの会、丹波の森公苑昆虫リガー 内容：昆虫採集、虫の仕分け 捕まえた虫の数：約120種、350匹</p> <p>② ミクロの世界をのぞいてみたよ 開催期間：7月27日(土)～8月1日(木) 時間：9時30分～11時30分 (27日・28日は15時まで延長) 場所：丹波の森公苑ロビー 対象者：小学生低学年以下の子どもを含む家族 参加者数：303人 参加費：無料 スタッフ：兵庫県立人と自然の博物館こども環境体験スタッフ 丹波の森公苑昆虫リガー 内容：マイクロスコープを使って虫や植物などを大きくして見る。</p>	198,000	189,382

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>③ どんぐりころころ&お花ぶかぶか 開催期間：10月8日(火) ～11月15日(金) 場所：丹波の森公園 中庭芝生広場 参加費：無料 参加者数：701人</p> <p>④ ゆめはく号がやってくる 開催日：12月1日(日) 場所：丹波の森公園 展示ギャラリー 対象者：小学生低学年以下の子どもを含む家族 参加費：無料 参加者数：407人 内容：テーマ「いろいろな虫」 ・おおきなカマキリ、きれいな昆虫標本、生きている虫に触れてみよう スタッフ：兵庫県立人と自然の博物館自然・環境科学研究所 副室長 鈴木 武氏、 主任研究員 高田知紀氏</p>		
イ	丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園)	<p>丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業 森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざすなどを対象に、丹波の森公園里山を拠点とした講座や里山整備に関する相談を実施。 [講座] ①間伐材活用編 日程：4月～7月 年5日間開催 募集定員：6人 参加者数：延べ30人 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園里山 ②間伐編 日程：9月～令和7年1月 年5日間開催 募集定員：6人 参加者数：延べ30人 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園里山 ③丸太木工教室(ベンチづくり) 開催日：10月20日(日) 参加者数：6人/募集6人 参加費：6,000円 場所：丹波の森公園創作工房 ④丸太木工教室(スツールづくり) 開催日：11月3日(日・祝) (午前の部、午後の部) 参加者数：午前の部4人、午後の部3人 (募集各回5人) 参加費：3,000円 場所：丹波の森公園創作工房 [相談(随時)] 104件 233人</p> <p>○里山及び環境学習体験フィールドの整備 丹波の里山づくりを实践する自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数22人)」及び森づくり講座受講生を中心とした「里山整備サポーター(H30創設、会員数15人)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、草刈り、森林整備等の環境整備を行っている。</p>	739,000	739,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>○森づくり活動アドバイザーの設置 緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行っている。</p> <p>重点</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、オオムラサキが舞う里山空間の創造を目指して設立された兵庫丹波オオムラサキの会(H23創設、会員数111人)と連携し、オオムラサキの生息環境整備を促進している。</p> <p>① オオムラサキの飼育展示 ② 小学校・企業等への飼育指導(21小学校、2高校、10事業所等) ③ 第15回放蝶会の実施 日 時：6月30日(日) 場 所：丹波の森公苑芝生広場 参加者数：126人 放蝶数：62頭</p> <p>④ 国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8月1日(木)～9月27日(金) 応募総数：198点 表彰式：10月27日(日)丹波の森フェスティバル会場で実施 作品展：丹波地域内2ヶ所で実施 (丹波ゆめタウン会場) 11月1日(金)～10日(日) (丹波の森公苑会場) 令和7年1月30日(木)～2月8日(土)</p> <p>⑤ 国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し 日 時：令和7年3月1日(土) 場 所：丹波の森公苑里山 参加者数：59人 自然繁殖確認数：17頭</p>		
		丹波の森公苑の里山整備を計画的に実施し、豊かな風景や景観の形成、生物多様性の保全を図る。また、里山整備を通じて、担い手の育成、里山環境の学びと里山整備を体験する場の提供、伐採樹木等の森林資源の活用を推進する。	<p>重点</p> <p>○里山整備・活用のあり方の検討 丹波の森公苑の里山における課題や今後の里山整備と活用のあり方を検討し、報告書として取りまとめ、協会職員に共有するとともに、県庁関係部局への資料提供を行った。 ・検討会 構成：公苑長、次長、事業推進部長、森づくり課職員、丹波の森研究所研究員 時期：6月～10月</p>		
ウ	丹波の森公苑環境学習推進事業 (丹波の森公苑)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>こども対象プログラム</p> <p>重点</p> <p>○丹波縄文の森塾の開催 開催期間：5月～令和7年3月 参加料：7,000円 塾 生：34人/募集30人(小学3年～6年生) 場 所：丹波の森公苑 内 容：里山及び生きもの観察、縄文土器野焼き体験、稲作り体験(田植え、稲刈り、脱穀、餅つき)</p>	1,301,000	1,282,207

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>○自然体験活動サポーターの設置 丹波縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を配置。社会人等が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> <p>○環境体験学習支援プログラム</p> <p>①親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ふれあいハイキング 開催日：4月29日(月・祝) 参加者数：14人 ・丹波いきもの大集合 開催日：7月15日(土) 会場：丹波ゆめタウン(出張移動展示) 参加者数：650人 <p>②幼児・小学生対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 開催期間：10月3日(木)～24日(木) 参加者：丹波地域の認定こども園及び小学校(5施設) 場所：丹波の森公園 ・出前講座の実施 オオムラサキ等関係 27回 水生生物関係 2回 		
	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業 (協会事務局)	丹波2050地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんばユース躍動プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	<p>新規</p> <p>・講座 目的:丹波の森を見守る次世代チャレンジャーの育成 対象者:高校生・大学生・社会人など 実施場所:丹波の森公園、ささやまの森公園 開催期間:6月～11月 内容:</p> <p>1)丹波の森公園 「植物の生態」「動物の生態」「食の恵み」「生活環境への恵み」などの視点から、森の保全・再生・活用のあり方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①植物の生態を学ぶ(藤木大介) 開催日:6月23日 ②食の恵みを体感する(横山真弓、藤本裕昭、福井佑美子) 開催日:7月28日 ③動物の生態を学ぶⅠ(高木俊) 開催日:8月24日 ④動物の生態を学ぶⅡ(高木俊) 開催日:10月19日 ⑤生活環境への恵みを学ぶ(上浦木昭春) 開催日:11月9日 <p>参加者数:合計48人 (複数回参加者数 10人)</p> <p>2)ささやまの森公園 鳥類の基礎的な生息環境を学習し、鳥類の生息を支える森の仕組みを学ぶ。 実施日(計6回)と実施内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講義・全体ガイダンス 開催日:5月25日 ②フィールド調査 計4回 開催日:6月23日、7月7日、8月18日、9月8日 内容「鳥類の生息状況と水生生物のフィールド調査」 ③フィールド調査の発表会、講評 開催日:10月26日 <p>参加者数:合計50人 (複数回参加者数 12人)</p>	2,032,000	2,022,924

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>・受講生募集の SNS 広告発信 参加者募集の広報のため、Facebook 及び Instagram において広告を配信し、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」サイトへの誘導を促進した。 発信期間：6月13日(木)～18日(火) 表示回数：145,719回 クリック数：909回(0.62%)</p>		
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p>重点</p> <p>○基本プログラム</p> <p>① 里山体験班：草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、しめ縄を作ろう等 プログラム回数：23回 募集定員：194人 参加者数：148人</p> <p>② 里山伝承班：黒豆を栽培しよう、そば道場シリーズ、そば粉料理を作ろう等 プログラム回数：19回 募集定員：243人 参加者数：165人</p> <p>③ 自然学習班：3種類のホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、セミのぬけがらを探そう等 プログラム回数：14回 募集定員：230人 参加者数：168人</p> <p>④ レクリエーション班：深山登山、陶芸を楽しもう、アマゴのつかみ取りをしよう等 プログラム回数：16回 募集定員：202人 参加者数：131人</p> <p>⑤ 里山復元班：稲作体験、森の時計作り、親子で薪割り体験、炭焼き体験等プログラム回数：16回 募集定員：228人 参加者数：169人</p> <p>○特別プログラム</p> <p>①「里山の日」企画プログラム 「バードウォッチング」 開催日：4月27日(土) 参加者数：11人 「春の深山登山」 開催日：5月11日(土) 参加者数：22人 「春の野草観察」 開催日：5月19日(日) 参加者数：14人</p> <p>②特別企画「親子で朗読会」 開催日：10月27日(日) 参加者数：19人</p> <p>③秋の里山まつり 開催日：11月10日(日) 入場者数：821人</p> <p>重点</p> <p>○森の学校(第17期生) 動植物の観察、飯盒炊さん、源流体験等 募集定員：15人(小学3年～6年生) 参加者数：17人(10回/年)</p>	8,249,000	8,211,250
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1、森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	168,866,000	166,150,362

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額																									
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む) (丹波の森公苑)	様々な分野の生涯学習や地域活動など、豊かな生活を創造するための地域住民の主体的な活動を支援することにより、新たな活動の取り組みや活動の活性化を図る。 また、当苑の利活用に繋がるようなグループの発掘を図る。	○グループ活動の支援 ・グループ活動コーナーの提供 87 グループ ・情報発信のための印刷機械の提供 329 グループ ・生活創造活動グループサポート事業による活動支援 19 グループがワークショップなどのイベントを開催し、653 名が参加 新規 ・生活創造活動登録グループ交流イベント「MORINCLU」の開催 開催日：7月20日(土)10:00~15:00 開催場所：丹波の森公苑多目的ルームほか 出展グループ数：20 グループ 来場者数：約500人 「MORINCLU(モリクル)」はモリ(丹波の森)とインクルージョン(inclusion:包み込む、社会的な一体性)を組み合わせた造語で、森に来る、森公苑に多くの人が集い、ワークショップの出展者と参加者が一体となって楽しい時間を共有するイベントにしたいという思いを込めている。	208,000	204,815																									
		消費者被害を防止する。	○消費者被害防止の普及啓発 ・「消費生活にゆーす」の発行(年4回) ・チラシ、ポスターの配架、掲示 ・消費者団体活動支援(総会1回、理事会7回)																											
イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	① 利用者数(貸し館に係るもの) (単位：人)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール棟</td> <td>2,813</td> <td>24,007</td> <td>23,669</td> <td>98.59%</td> </tr> <tr> <td>里山スクエア</td> <td>0</td> <td>489</td> <td>505</td> <td>103.27%</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>26,620</td> <td>25,586</td> <td>26,194</td> <td>102.38%</td> </tr> <tr> <td>テニスコート・グラウンド</td> <td>15,783</td> <td>20,338</td> <td>18,099</td> <td>89.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	R4	R5	R6	前年度対比	ホール棟	2,813	24,007	23,669	98.59%	里山スクエア	0	489	505	103.27%	研修棟	26,620	25,586	26,194	102.38%	テニスコート・グラウンド	15,783	20,338	18,099	89.0%		
施設	R4	R5	R6	前年度対比																										
ホール棟	2,813	24,007	23,669	98.59%																										
里山スクエア	0	489	505	103.27%																										
研修棟	26,620	25,586	26,194	102.38%																										
テニスコート・グラウンド	15,783	20,338	18,099	89.0%																										
		② 施設使用料収入 (単位：円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール棟</td> <td>461,000</td> <td>3,437,850</td> <td>3,460,900</td> <td>100.7%</td> </tr> <tr> <td>里山スクエア</td> <td>0</td> <td>135,000</td> <td>126,400</td> <td>93.63%</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>2,496,500</td> <td>2,504,450</td> <td>2,513,550</td> <td>100.36%</td> </tr> <tr> <td>テニスコート・グラウンド</td> <td>2,288,950</td> <td>3,564,250</td> <td>3,533,400</td> <td>99.13%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	R4	R5	R6	前年度対比	ホール棟	461,000	3,437,850	3,460,900	100.7%	里山スクエア	0	135,000	126,400	93.63%	研修棟	2,496,500	2,504,450	2,513,550	100.36%	テニスコート・グラウンド	2,288,950	3,564,250	3,533,400	99.13%		
施設	R4	R5	R6	前年度対比																										
ホール棟	461,000	3,437,850	3,460,900	100.7%																										
里山スクエア	0	135,000	126,400	93.63%																										
研修棟	2,496,500	2,504,450	2,513,550	100.36%																										
テニスコート・グラウンド	2,288,950	3,564,250	3,533,400	99.13%																										
		③ 施設改修状況	R4.2.1~R5.2.25 ホール天井耐震改修工事のためホール休館 R4.4.1~R5.5.20 計画修繕工事のためアトリエ棟休館 R4.9.13~R5.2.25 計画修繕工事のため練習室・楽屋AB使用中止 R4.11.15~R5.3.17 改修工事のためテニスコート使用中止 R5.3.1~ ホール使用再開 R5.5.23~ 里山スクエア(コキキグスタジオ・キャッチスタジオ)利用開始 R6.1.10~2.25 ホール棟空調設備修繕工事のためホール休館 R6.2.26~ ホール使用再開 R7.1.7~2.20 里山スクエア電気設備改修工事に伴う使用停止 R7.1.27~3.2. ホール電気設備改修工事のためホール休館 R7.2.10~2.13、 2.17~2.20 テニスコート、グラウンドを除く全館停電のため本館休館																											

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室等を開催する。	重点 ○特別工作教室 ・募集講座：55 講座 ・募集定員：548 人 参加者数：367 人 ・定期講座 WORK SHOP (月 4 回) 参加者数：482 人 焼きペン教室 (年 24 回) 参加者数：205 人 ○グラウンドゴルフ大会 (年 4 回予定) 第 1 回開催日：6 月 5 日 (火) 148 人 第 2 回開催日：9 月 3 日 (火) 107 人 第 3 回開催日：12 月 3 日 (火) 151 人 第 4 回開催日：令和 7 年 3 月 4 日 (火) 雨天により中止 ○ティラノサウルスレース in 丹波竜の里 2024 ※市販のティラノサウルスの着ぐるみを着用しレースや丸太切り、大玉転がし等を行った。 日時：11 月 9 日 (土) 午前 9 時～16 時 場所：丹波年輪の里芝生広場 参加者数：オスの部 46 頭・メスの部 87 頭 幼獣の部 29 頭 合計 162 頭 (当初予定 250 頭) 共催：丹波県民局、丹波 2050 地域ビジョンたんばユースチーム、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会、丹波市(観光課)、丹波市教育委員会(恐竜課)、(一社)丹波青年会議所、(一社)丹波市観光協会、スポーツ推進プロジェクトチーム『道』、県立人と自然の博物館 ○緑の中のコンサート (年 2 回) (第 1 回) 開催日：10 月 6 日 (日) 出演：県立柏原高等学校ギター部 開催場所：丹波年輪の里クラフト広場 来場者数：約 300 人 (第 2 回) 開催日：11 月 23 日 (土) 出演：兵庫県警察音楽隊 開催場所：丹波年輪の里パフォーマンス広場 来場者数：約 300 人	2,230,000	1,922,270
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座 (丹波 OB 大学) の開設 (丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	○丹波 OB 大学 ・学習年限：4 年 ・募集定員：各学年 60 人 ・受講者数：128 人 (1 年 41 人、2 年 25 人、3 年 38 人、4 年 24 人) ・講座内容：教養講座、専門講座 (健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間：4 月～令和 7 年 3 月まで 18 回 ・場 所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・受講料：12,500 円	1,784,000	1,784,000
	イ 講座「丹波学」の開設 (丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	重点 ○講座「丹波学」の開催 ・テーマ：明智光秀とその時代～光秀の足跡と丹波の城郭～ ・開催期間：8 月 24 日 (土) ～12 月 14 日 (土) 全 5 回 ・場所：丹波の森公苑ホール ・募集定員：150 人 ・受講者数：145 人 ・講師：渡邊 大門氏 (株式会社歴史と文化の研究所・代表取締役) ほか ・受講料：6,000 円	870,000	718,651

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催 【丹波の森公苑】	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	○丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・開催日：9月26日(木)～27日(金) ・場所：丹波の森公苑ホール 多目的ルーム ・参加者数：延べ588人 (丹波地域内の高齢者大学受講生など) ・内容：作品展及び芸能発表	180,000	175,903
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ①トライやる・ウィーク(中学生受入) 【丹波の森公苑】 期間：6月4日(火)～8日(土) 受入数：3人 【丹波年輪の里】 期間：6月4日(火)～6日(木) 受入数：3人 【ささやまの森公園】 期間：6月4日(火)～8日(土) 受入数：1人 【丹波並木道中央公園】 期間：6月3日(月)～7日(金) 受入数：4人 ②インターンシップ(高校生受入) 【丹波の森公苑】 期間：11月12日(火)～15日(金) 受入数：2人	7,000	6,353
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	重点 ○レッスン ・開催期間：7月21日(日)～10月19日(土)(全15回) ・場所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・参加者数：57人 ・指導：(有)ウエスト・プロ ・参加費：6,000円 ○発表公演 ・公演「魔法使いの夏休み」 ・開催日：10月20日(日)(2回公演) ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人1,000円、高校生以下無料 ・入場者数：延べ959人	1,884,000	1,884,000
	ウ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベ俱樂の活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○「丹波のむかしばなし」を活用した「語り方講演会」の開催 ・開催日時：7月21日(日) ・場所：丹波の森公苑セミナー室 ・講師：フリーアナウンサー 野村朋未氏 ・内容：発声や発音、表現法についてなど ・参加者数：29人 ○大路小学むかしばなし俱樂の支援 ○「丹波のむかしばなし」復刻本の印刷 第1集、第5集、第7集(各300冊) ○丹波のむかしばなしおはなし会 【丹波篠山市立図書館】 ・開催日：令和7年2月23日(日) ・出演クラブ：語りベサークル「ふるさと」 ・参加者数：17人 【丹波市立図書館】 ・開催日：令和7年3月9日(日) ・出演クラブ：こんぺいとう、日々草 ・参加者数：6人	859,000	849,125
(4) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	84,001,000	81,685,217

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会】 主催：実行委員会事務局を担当し、負担金を支出	国内外からアーティストを招聴し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・シューベルトの音楽を楽しみ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の実施等	重点 ○テーマ： 「30年ありがとう！優しい音楽ありがとう！Ich danke dir, Franz Schubert. ～丹波はシューベルトの第2のふるさと～」 開催期間：9月8日(日)～11月17日(日) ○オープニング・サロンコンサート 「出会いはウィーンのケルトナー通り」 ・開催日：9月8日(日)2回公演 ・場 所：お菓子の里丹波ミオール館 ・参加人数：161人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円) ○街角コンサート ・10会場(氷上、春日、篠山、今田、丹南、西紀、市島、青垣、柏原、山南) ○ガラ・コンサート 「待ち合わせはウィーンのホーフブルク宮殿」 ・開催日：11月17日(日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・参加人数：394人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料(要整理券) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ○キン・コン・カン・コンサート ・11月7日(木)丹波篠山市立今田中学校 ・11月13日(水)県立氷上西高等学校	1,255,000	1,255,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業 (丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	○スーパーキッズ・オーケストラ クリスマスコンサート2024の開催 ・開催日：12月21日(土)2回公演 ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人1,500円(当日2,000円)、高校生以下無料(要整理券) ・入場者数：延べ203人	894,000	894,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 (丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	○第33回アート・クラフトフェスティバル in たんば2024 ・開催期間：11月2日(土)～4日(月、祝) ※2日(土)は、大雨警報発令のため午前中で中止 ・場所：丹波年輪の里 ・出展者数：159人 (木工、陶芸、ガラス、染色、皮革) ・来場者数：25,600人(3日間)	400,000	400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催 (丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	重点 ○第36回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展) ①一般の部(テーマ：バランス) ・出展数：73人、80点(うちテーマ33点) ・展示期間：9月7日(土)～22日(日) ・場 所：丹波年輪の里木の館ホール ・来場者数：877人 ②ジュニアの部(高校生以下) ・出展数：144人、128点 ・出展校等：幼小学校13校、中学校1校、高校2校、計16校 個人出展4人 ・展示期間：10月12日(土)～27日(日) ・場 所：丹波年輪の里木の館ホール ・来場者数：1,017人	900,000	900,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・開催期間：10月10日(木)～13日(日) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・来場者数：91人 ○新春書き初め展 ・開催期間： ① 令和7年1月22日(水)～26日(日) ② 令和7年2月9日(日)～13日(木) ・場所： ①丹波の森公苑多目的ルーム他 ②丹波篠山市立四季の森生涯学習センター ・来場者数：①1,128人 ②279人 ・出品数：649点	120,000	120,000
	エ 展示ギャラリーの開設 (丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	○書、絵画、写真等の作品展示 利用件数：26回(絵画展、写真展など) 開催場所：丹波の森公苑展示ギャラリー	28,000	27,082
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・開催日：5月26日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・内容：第13回丹波の森童謡唱歌の祭典の中で、青垣翁三番叟が出演 ・参加者数：445人 ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：9月～令和7年1月 ・開催場所：丹波管内の小学校10校	187,000	185,630
	カ 座っ展-丹波で坐る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「座る・触る」ことにより、作品のすばらしさを体験することができる。	○「座っ展2024-丹波で坐る木の椅子-」 ・開催期間：4月27日(土)～5月5日(日・祝) (年輪の里ゴールデンウィークフェスタ) ・場所：丹波年輪の里木の館ホール ・出展者数：木工作家17人、34脚の出展 ・来場者数：1,390人	120,000	80,000
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	36,838,000	36,496,794

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (事務局) (丹波の森公園) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 またSNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域とつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・8月発行 ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ・アクセス件数 延べ 4,197件(協会) 延べ 25,458件(丹波の森公園) 延べ 56,099件(丹波年輪の里) 延べ 26,898件(ささやまの森公園) 延べ 57,298件(丹波並木道中央公園) ○Facebook、Instagram、Xによる情報発信	1,612,000	1,609,728
	(ささやまの森公園) (並木道中央公園)	インターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域とつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	延べ 4,197件(協会) 延べ 25,458件(丹波の森公園) 延べ 56,099件(丹波年輪の里) 延べ 26,898件(ささやまの森公園) 延べ 57,298件(丹波並木道中央公園) ○Facebook、Instagram、Xによる情報発信 ・随時更新 ・Instagram(投稿回数・フォロワー数) 協会(投稿 189回・フォロワー 645人) 丹波の森公園 (投稿 105回・フォロワー 214人) 丹波年輪の里 (投稿 755回・フォロワー 1,732人) ささやまの森公園 (投稿 12回・フォロワー 165人) 丹波並木道中央公園 (投稿 249回・フォロワー 1,408人) ○丹波の森創造プランの冊子作成 配布:10月末に全戸配布 ○FP体験プログラム「丹波の森で遊び学ぶ」 4施設において、ハイキング、自然観察、木工クラフト、草木染め、音楽祭、賑わいイベント等のプログラムを提供 ① プログラムの磨き上げ研修参加 5月24日(金)、7月11日(木)、 12月3日(火)、令和7年3月14日(金) ② 県民局FPプレ体験ツアーの受け入れ 8月21日(水)丹波年輪の里(木工クラフト) 8月22日(木)ささやまの森公園(自然観察) ③ 情報発信 ・サンTV「ひょうご発信!」10月27日(日) 内容:ささやまの森公園 (ハイキング、草木染め、薪割り) ・ホームページによる体験プログラムの紹介 兵庫県運営の「ひょうごフィールドパビリオン」 神姫バス(株)運営の「Localprime」 ④ その他 ・FP県民センター事業の受入施設への登録		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、丹波の地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会(協議会)を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ・開催日：令和7年2月27日(木) 12人出席 ○丹波年輪の里運営協議会 ・開催日：令和7年3月13日(木) 12人出席 ○ささやまの森公園運営協議会 ・開催日：令和7年2月26日(水) 17人出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回開催日：9月4日(水) 17人出席(オブザーバー含む) ・第2回開催日：令和7年3月5日(水) 15人出席(オブザーバー欠席)	395,000	221,950

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ① 飲み物の自販機設置 ② レストラン施設貸与 ③ 物産販売場所の提供 ④ レンタサイクル事業 ・丹波の森公苑 ① ・丹波年輪の里 ①、② ・丹波並木道中央公園 ①、③、④ 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園	7,823,000	6,053,669

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30団体	15,000	7,680
	イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行う。	○交付団体（3団体） ・氷上混声合唱団パストラール（7月） ・内田修二先生記念音楽会実行委員会（8月） ・兵庫県立柏原高等学校吹奏楽部 (令和7年3月)	150,000	150,000

Ⅲ 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ・第27回評議員会 4月1日(月) (書面同意)理事の選任について ・第28回定時評議員会 6月26日(水) 令和5年度事業報告及び収支決算の承認について、理事の選任について、監事の選任について、評議員の選任について ○理事会 ・第49回理事会 4月1日(月) (書面同意)理事の選任について ・第50回理事会 6月7日(金) 令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度収支補正予算(第1次)、第28回評議員会の招集について ・第51回理事会 6月26日(水) (書面同意)理事長、副理事長及び常務理事の選定について ・第52回理事会 令和7年1月28日(火) 令和6年度収支補正予算(第2次)について ・第53回理事会 令和7年3月26日(水) 令和6年度収支補正予算(第3次)について、令和7年度事業計画及び収支予算について ○監事監査 5月30日(木) ・令和5年度事業報告及び収支決算について ○中間監事監査 11月22日(金) ・令和6年度上半期事業報告及び収支決算について ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理 ・資金運用委員会 8月23日(金) 令和7年度以降の基本財産(2億円)の運用について ・4施設連携会議(ベンチプロジェクト) 7月4日(水) 9月11日(水) zoom 会議 ・施設長会議 5月2日(木)、6月26日(水)	14,623,000	14,563,483
	イ 「丹波の森創造プラン」・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組 (協会事務局)	・「丹波の森創造プラン」の普及推進 ・「兵庫丹波の森協会アクションプラン」の取組	① 丹波篠山市職員研修 ・新規採用職員研修(再掲) 開催日:9月25日(水) 対象者:新規採用職員約30名 内容:丹波の森宣言等の概要(事務局) 地域づくりの取組(丹波の森研究所) ・地域支援職員研修 開催日:10月8日(火) ～9日(水)(8回講座) 対象者:市職員のうち地域づくり支援員 内容:丹波の森宣言及びプラン等の説明 ② 丹波の森創造プランの冊子作成(再掲) 配布計画:10月末に全戸配布 ③ 丹波新聞寄稿「丹波のもりびと」(再掲) ・5月から7人の寄稿 ・丹波の森研究所研究員による活動を通じた寄稿内容とともに丹波の森づくりを紹介する。 ④ 丹波の森創造プラン記者発表 内容:丹波市(公苑)及び丹波篠山市(市役所)で、丹波の森創造プランの記者発表を行い、市民への周知を図る。 実施日:5月2日(木)丹波市(公苑) 5月9日(木)丹波篠山市(市役所)		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>⑤ 県関係機関への丹波の森創造プラン周知活動 丹波県民局など、丹波地域の県関係施設を理事長と訪問し、丹波の森創造プランの周知を図る。 実施日：7月8日(月) 訪問先：丹波県民局(県民躍動室、土木事務所、農林振興事務所、土地改良事務所)、森林動物研究センター</p> <p>⑥ 「丹波の森づくり」PR特設コーナーの設置及び丹波のむかしばなしおはなし会(再掲) ・丹波篠山市立中央図書館 期間：令和7年2月18日(火)～3月2日(日) (おはなし会) 開催日：令和7年2月23日(日) 参加者数：17人 ・丹波市立中央図書館 期間：令和7年3月1日(土)～3月14日(金) (おはなし会) 開催日：3月9日(日) 参加者数：6人</p>		
	ウ 市・県との連携強化 (協会事務局)	丹波の森構想、丹波の森宣言、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、「気づき・学び→体験・理解→地域で実践する」ため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する。	<p>○協会・市・県等の連携強化 ・定期的な丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・県民局連絡会 開催日：拡大会議 5月8日(水) 代表四者会議 6月7日(金) 県民局、2市個別協議実施 ・取り組むテーマによって、2市担当部門との積極的な協議の場づくり</p> <p>○職員が学び理解する場 ・丹波の森大学などを通じて、協会・市職員に対し、丹波の森づくりを学び理解する研修を実施 2市及び丹波県民局担当5～9人の参加</p>		

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
ホール	283	83	29.3	18,242	2,934,850	2,913,150	100.7
練習室兼楽屋	284	149	52.5	4,699	420,650	411,900	102.1
楽屋A	283	49	17.3	479	75,850	78,400	96.7
楽屋B	283	49	17.3	249	29,550	34,400	85.9
創作工房	301	161	53.5	3,941	423,800	446,550	94.9
多目的ルーム	301	203	67.4	12,416	1,202,200	1,135,600	105.9
和室	301	81	26.9	775	62,200	75,000	82.9
会議室1	301	138	45.8	1,530	137,650	141,000	97.6
会議室2	301	77	25.6	738	75,400	65,000	116.0
会議室3	301	124	41.2	2,040	155,700	182,800	85.2
セミナー室	301	152	50.5	4,754	456,600	458,500	99.6
コワーキングスタジオ	301	19	6.3	100	76,800	104,700	73.4
キッチンスタジオ	301	16	5.3	405	49,600	30,300	163.7
テニスコート	304	250	82.2	10,618	3,266,100	3,248,550	100.5
グラウンド	304	132	43.4	7,481	267,300	315,700	84.7
計	4,450	1,683	37.8	68,467	9,634,250	9,641,550	99.9
前年度計	4,427	1,805	40.8	70,420			
前年度対比		93.2%	92.8%	97.2%			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	307 ^日	280 ^日	91.2 [%]	20,275 ^人	0 ^円	0 ^円	0.0 [%]
工作室A	307	17	5.5	518	26,900	27,600	97.5
工作室B	307	29	9.4	2,753	21,350	28,800	74.1
アトリエA	307	34	11.1	928	20,400	17,350	0.0
研修室A	307	85	27.7	2,376	223,850	215,350	103.9
研修室B	307	73	23.8	1,022	120,600	218,350	55.2
会議室	307	59	19.2	863	59,650	53,450	111.6
工作共同	307	236	76.9	2,630	203,830	196,510	103.7
イベント広場	307	202	65.8	69,893	272,200	258,900	105.1
計	2,763	1,015	36.7	101,258	948,780	1,016,310	93.4
前年度計	2,781	1,127	40.5	94,221			
前年度対比		90.1 [%]	90.6 [%]	107.5 [%]			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	309 ^日			20,860 ^人			
プログラム				2,644			
団体利用				1,519			
その他				320			
運営協議会				17			
計				25,360			
前年度計	309			25,603			
前年度対比				99.1 [%]			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
一般	359(駐 車場は 365日 開場)			240,158			
プログラム				29,126			
団体利用				3,804			
その他				0			
円卓会議				24			
計				273,112			
前年度計	360			263,432			
前年度対比				103.7%			

令和6年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	127,036,000	127,036,000	0	県立丹波の森公苑に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	79,219,000	74,794,000	4,425,000	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	7,258,500	7,258,500	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	40,260,000	40,260,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る施設維持及び運営管理			
都市公園整備事業	兵庫県	8,500,000	2,142,660	6,357,320	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。			
太古の生きもの館の施設管理	丹波篠山市	178,200	145,200	33,000	丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。			
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	1,000,000	1,000,000	0	認定したモデル団体10団体にに対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。			
ひょうご森づくりサポートセンター事業 木育活動実施支援事業	兵庫県木材業協同組合連合会	2,580,000	2,580,000	0	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。			

266,031,700 255,216,380 10,815,320